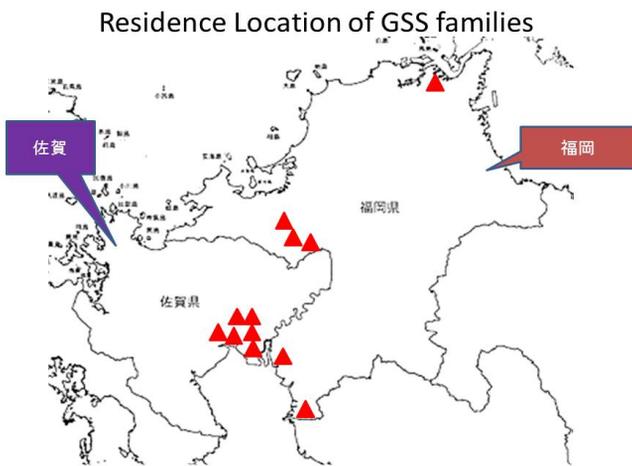


プリオン病の治療薬開発研究に向けた臨床疫学研究

研究分担者: 福岡大学医学部神経内科学 坪井義夫

福岡・佐賀地区のGSS家系研究



- ◆ 全国で発症した10例を超えるGSSのうち約半数が九州地区で発症しており特に福岡ー佐賀地区・鹿児島が多い。
- ◆ 出身地まで含めると約7割が九州関連の発症であり、その登録数は増加している

解 説

1. GSSの発症者は九州地区特に福岡・佐賀・鹿児島に顕著である
2. GSS発症者はやや高齢化の傾向にある
3. GSS登録が増加している理由は髄液検査、遺伝診断の普及により、これまで脊髄小脳変性症(SCD)と誤診された家系が登録されてきている。